日本共産党松江市委員会機関紙
新しい松江
発行　日本共産党松江市委員会・松江市袖師町3－6　電話24－2456

市民の声を9月議会へ
食料自給率改善求める
意見書案を提案

橘よしあき、吉儀けい子、田中はじめの3市議が街頭から訴え

3市議が街頭から訴え

9月議会の開会前の8月28日、市民の声を議会へ届ける決意を、橘よしあき、吉儀けい子、田中はじめの3市議が、街頭から訴えました。

最初に、橘市議が、参院選の低投票率をどう見るか、最近の緊迫した国際情勢をどう考え、こういう時こそ民間交流を続ける努力をと代表質問で市長に質すと述べました。また、保育園散歩コースの安全確認の状況、また、通学路危険個所の改修体制はどうかを質していくと述べました。

続いて、吉儀市議は、食料自給率が過去最低を更新し、ついに37．5％になったことを指摘し、共産党市議団3名の議案提案権を活用し、食料自給率改善の取り組みを政府に求める意見書案を9月議会に提案し、市民の食を守るために頑張る決意を述べました。

最後に、田中市議が、原発のない松江を子どもたちへ、市民の声が届く市政へと訴えて議会へ送っていただいた原点を大切に頑張る決意を述べ、特に今議会で、「赤ちゃん誕生で家族が増えた際、値上げとなる国保料に対する補助で子育て支援を」と訴えると述べました。

9月議会始まる
一般質問・決算審議等を通し、市の姿勢を質す

9月議会は、4日から30日までの日程で開催されます。

議案は、条例案件10件、単行案件4件、予算案件5件、決算案件14件、報告案件10件が上程されました。

特に決算審査は、審査結果を来年度予算に反映させるという大切な役割があり、橘議員が総括質疑を行い、総務委員会は田中議員、建設環境委員会は橘議員、経済委員会は吉儀議員が所属する各常任委員会に分かれて決算を審議します。

9月議会の日程

日	曜日	内容
4	水	本会議・決算特別委員会
9	月	代表質問…橘議員 （市長の政治姿勢・中海振興・交通安全対策）
10	火	一般質問…吉儀議員（ガス民営化・除草剤・公民館）
11	水	一般質問…田中議員（原発・国保均等割・低投票率）
12	木	決算特別委員会
13	金	総務委員会・教育民生委員会
17	火	総務委員会・教育民生委員会 ・建設環境委員会現地視察
18	水	経済委員会・建設環境委員会
19	木	経済委員会・建設環境委員会
25	水	決算特別委員会・予算委員会
30	月	本会議

つれづれ 徒然

先月、松江市上乃木にある、こばと保育園のにこにこバザーに参加しました。広い園舎にあふれるほどの参加者で驚きました。食べ物、飲み物、手作りゲーム、日用品・野菜・手作り品販売、0歳児保護者の寸劇、映画会と多彩です。

20名の実行委員が企画し、107世帯の保護者全員がスタッフとして活躍する。人間関係が希薄になった今日、若い人たちのこんな濃密な集団的取り組みは貴重です▼こばと保育園は、1979年に60名定員で設立され、100名に増員したのち昨年4月に120名定員で現在地に移転改築されました。ヒノキの香りが漂う、どの部屋からも園庭に出られるバリアフリーの良い設計です。なによりも子どもたち一人ひとりの心と体の発達をとことん追求していくという保育理念を、40年間変わらず続けていることに拍手です▼子育てでは、特に乳幼児に目を向けましょう。0歳から3歳までの子育てが特に大切だといわれます。この期間が人生の基礎を形成するからです。自己肯定感も養われます。過保護になるぐらい十分な愛情を注ぎながら、人間として自立するすべを鍛えていく期間です。両親はもとより、おじいさん、おばあさんの役割りも大切です。子どもは、みんなの宝。（和）